

一般社団法人への 制度移行に取り組む



(社)日本内燃力発電設備協会
会長 吉田 藤夫

平成23年の新春を迎え、全国の発電設備関係者の皆様に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中は当協会の事業活動に格別のご支援とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。また、新しい年が皆様にとりまして、健やかで希望に満ちた一年でありますよう心からお祈り申し上げます。

日本経済は、米国リーマン・ショック後の大きな世界的景気の落ち込みから、昨年は一時期持ち直したかに見えたときもありましたが、デフレや円高の進行等により、国内景気の先行きは依然として厳しいものと予測されています。本年は、本格的に景気が回復し定着して、明るい年になってほしいものです。

当協会を取り巻く事業環境も依然厳しい状況にあります。が、本年の当協会の事業運営の方向等について、申し上げます。

製品認証制度の適正な運営

まず、製品認証制度の適正な運営についてです。当協会は、自家発電設備に関して、ISO/IECガイド65に基づく製品認証機関として認定を取得して以来、昨年3月に2回目の認定の更新を終え、本年で9年目を迎えました。引き続き、認証取得者に対するサーベイランス等、自家発電設備の認証基準への適合性評価を適正に行い、ユーザーや自家発電設備業界の発展のために品質の向上に努めて参ります。

また、自家発電設備の品質規格・技術基準は、公平性、客観性等の観点から規格・基準の整備に注力していますが、既にNEGA規格「品質システム審査基準」の見直し・改定を行い、昨年9月に施行しました。今後も権威ある製品認証機関として、国際規格と国内規格の整合化を図り、技術基準への反映等を行うなど、規格・基準の整備を図っていく所存です。

消防法の登録認定機関として寄与

当協会は、消防用設備の非常電源としての自家発電設備に関して、平成16年11月の制度改正により、それまでの指定認定機関から消防法施行規則第31条の4に基づく登録認定機関としての業務を行っています。昨年10月には登録認定機関として2回目の更新を果たしたところであり、今後も消防用設備等技術基準への適合性評価等について適正な運営に努めて参ります。

本登録認定制度は、非常時に必要な電力を供給する防災用自家発電設備について保安確保の中核となる重要なものであり、この点を深く認識して同制度の充実に寄与して行きたいと考えています。

専門技術者制度の的確な運営

自家用発電設備専門技術者制度については、資格保有者の社会的活用が一段と進められるよう的確な運営に努めて参ります。近年、社会の高度化に伴って電気への依存度が高まり、自家発電設備及び可搬形発電設備の設計・製造・

据付工事・保守業務等に従事する専門技術者の養成と確保がますます重要になっています。

現在、専門技術者の資格保有者数は延べ約3万人に達しています。本年度は、可搬形発電設備専門技術者試験の受験者数が、従来の横ばい状況から大きく増加する変化がありました。資格保有者の技術レベルのさらなる向上に努めるとともに、自家発電設備のユーザーを対象に定期的な保守点検の実施の重要性について、積極的にPR活動を展開していく所存です。

協会基盤の整備

当協会を取り巻く経済環境は、依然厳しさが続くものと予測されています。今後も業務改善や経費節減に努め、当協会事業収支の安定・維持に努めていく所存です。

公益法人制度改革については、関連三法が施行され、新公益法人への移行が可能となりました。当協会の制度改革への対応については、一昨年の総会では平成23年度中に「非営利型一般社団法人」に移行申請する方針を決め、昨年の総会では定款変更案の仮承認をいただきました。本年の平成23年度は予定の移行申請の実施に向け、鋭意準備を進めて参ります。昨年の夏に開始された国の特例民法法人に対する現行指導監督基準の適用強化に対しても、適切な対応を図っていく所存です。

広報・情報公開については、毎月15日発行の広報誌『内発協ニュース』やホームページ等の広報媒体の有効活用を一層進めて参ります。広報誌では、当協会の事業活動、会員企業や関係官公庁の動向について最新の情報を提供し、引き続き、皆様の関心の高い新エネルギー・再生可能エネルギーに関する特集記事を組むなど、一層の内容充実化を図って参ります。特にホームページでは、より見やすく・もっと分かりやすくという視点から、昨年7月に大幅なりリニューアルを行いました。さらに今後は情報のタイムリー・迅速な発信にも力を入れていく方針です。

最後に

昨年も、ハイチ地震のような大地震が発生し、また、国内外で温暖化の影響と思われる集中豪雨等の自然災害が多数発生しました。緊急災害時に保安電力を供給する自家発電設備の役割、その安全性の確保や信頼性の向上はますます重要となっています。そのような社会的要請に応え、自家発電設備の品質・性能の向上に資するという当協会の使命を果たすため、本年も必要な取り組みを強力に進めて参りたいと思います。

最後に、皆様のますますのご健勝とご多幸、並びに社業のご盛運を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。